

# すもと 市議会だより

第16号

平成22年6月15日

編集発行 洲本市議会

TEL 0799-22-3321(代)

FAX 0799-22-3092

// 5月定例市議会 //



5月8日神戸淡路鳴門自動車道利用促進淡路島民会議「新料金案反対決起集会」

## 平成22年度予算総額は369億7,396万円

平成22年度補正予算、条例の改正などをいずれも原案可決  
専決処分案件は承認

予算のあらまし

《平成22年度予算》

(千円単位四捨五入)

《ともにつくる参画と協働のまちづくり》

会計	予算額	前年度比較
一般会計	225億5,400万円	3.8%増
特別10会計	144億1,996万円	3.3%減
計	369億7,396万円	7.0%減

元気のもと基金助成事業	2,710万円
ハワイ島姉妹都市提携10周年事業	162万円
まちづくり講座	160万円

《豊かな自然と共生するまちづくり》

海岸漂着物地域対策推進事業	850万円
合併処理浄化槽設置補助金	4,172万円
ストックヤード整備事業	760万円

《こころ豊かな人を育む教育・文化のまちづくり》

小学校大規模改造事業	4,379万円
アスリートネットワークプロジェクト	200万円
文化体育館開館5周年記念事業	500万円

《健やかで生き生きと暮らせるまちづくり》

ヒブワクチン接種費用助成事業	120万円
放課後児童クラブの開設	380万円
肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業	920万円

### 主要事業

《創意に満ちた活力ある交流・産業のまちづくり》

大浜公園整備事業	1億7,000万円
有害鳥獣防除対策事業	1,565万円
畜産力(うしぢから)誘発推進事業	1,170万円
農産物直売所開設実験事業	100万円

《安全で快適な生活のまちづくり》

県立淡路病院建替事業への支援	17億5,132万円
道路新設改良事業	7,864万円
生活バス路線運行助成事業	2,149万円
防災公園整備事業	6,172万円

5月定例市議会は、14日から28日までの15日間開催されました。冒頭で副市長が選任された後、市長の施政方針、教育長の教育行政方針が示されました。続いて平成22年度補正予算、条例の一部改正など計16件が上程された後、13名の議員が一般質問に立ち、それぞれの立場から理事者に対して、行政のあり方や施策の考え方などをいただきました。

なお、第4日目には、人事議案2件と契約に関する追加議案2件が上程され、審議の結果、いずれも、人事議案については同意、その他の議案については、原案のとおり可決しました。

紙面の都合から、その一部を要旨で掲載いたします。

## 一般質問

### 要旨

#### 観光振興

##### 三熊山公園整備事業

**Q** 観光関係で三熊山整備が掲げられている。本年度の事業推進計画の概要についてお聞きしたい。

**A** 本丸跡といこいが丘の2箇所にあります公衆トイレの建て替えに着手してい

きたい。ライトアップについては、石垣をライトアップして異なった三熊山の魅力をお示ししていこうというものです。

##### 洲本温泉観光振興事業

**Q** 洲本温泉観光振興事業の事業内容、工事期間についてお伺いしたい。

**A** この事業は、兵庫県で県道洲本灘賀集線の歩道整備に着手されているのに合わせて、歩道に照明を設置していこうというのが事業の内容です。期間は、県の工事が5年計画と聞いていますので、それと同様の期間で実施してまいる考えです。

##### 東海岸整備事業

**Q** 東海岸整備事業の現在の進捗状況についてお伺いしたい。

**A** みなと振興交付金事業により、古茂江港の水路護岸改修工事、生石地区の栈橋整備、交流広場整備工事を25年度まで実施する予定です。進捗状況については、古茂江港の水路護岸改修工事は、近々入札という運びになっています。今後、生石地区の発注に取り組みます。



古茂江港（運河）

#### 農業振興

##### 有害鳥獣防除対策

**Q** 有害鳥獣の農作物被害についての現状認識と洲本市における有害鳥獣防除対策の状況を教えてください。

**A** 鹿の被害については、被害は洲本地域に集中しており、被害を受けているところについては深刻な状況が続いています。猪については、市内全域で急激な被害地域の拡大が見られるという現状認識をしています。平成22年度におきましても、農林水産部の組織を見直し、鳥獣被害対策を担当する部署の体制の強化を図らせていただきました。加えて、予算の増額による対策の強化を検討し、国庫補

助により実施される大規模な鳥獣の侵入柵の設置などに対する支援、被害を自衛するための圃場への電気柵などの設置に対する支援、新規の狩猟免許の取得に対する助成、捕獲に対する支援といったものを柱とする予算案を作成させていただきました。

##### 農産物直売所開設実験事業

**Q** 阪神間で新たに農産物直売所開設実験事業に乗り出そうとしていますが、開設実験支援の目的についてお伺いしたい。

**A** 直売という仕組みについては、ロットが小さく小ロットで多品目を販売するという特徴がありますが、規模の小さな高齢な農家についても、直売という取り組みには、参画できる可能性があるのでないかと認識をしています。

農産物直売所開設実験事業については、これらの可能性に対する一つの試みというところで、生産者が直接消費地に向いて直売を行うという取り組みを支援して、小規模な農家も参画した地域農業の活性化を図るという道が探れないかというところを目的としています。

具体的な場所、詳細な仕組みについては、予算が成立した後に詳細を詰めてまいります。

#### 水産業振興

##### 水産基盤の整備とつくり育てる漁業

**Q** 水産基盤の整備とつくり育てる漁業の推進と施政方針にありますが具体的な何をされるかお伺いしたい。

**A** 平成22年度は旧五色町の船瀬漁港の砂防堤の改修と浚渫、また、海岸近くの漁礁の確保ということで、築磯の設置工事を灘の地先で予定しています。つくり育てる漁業としては、定着性のある魚種の稚魚の放流を考えています。



稚魚の放流

#### 商工業振興

##### 地場産業の支援

**Q** 施政方針の中で地場産業を支援し働く場に元気と活力を与えたいと書かれております。具体的に何か施策を考えていますか。

**A** 従来から住宅用の太陽光発電システムの設置補助というものを実施していましたが、地元企業であります三洋電機の製品をお使いいただく場合、1キロワット当たりの補助単価、通常は2万円ですが、3万円に引き上げさせていただく優遇制度を設けさせていただいています。

#### 防災対策の推進

##### 防災対策

**Q** 本市の備蓄体制について、どのようにお考えか。

**A** 市による食料品等の備蓄には、当然、限界があります。このため、災害が発生した際には被災者に対し速やか、円滑な物資の供給ができるよう民間事業者と「災害時における物資の供給に関する協定書」を結び、被災者の生活を守る対策を講じています。

## 防災公園整備事業

**Q** 防災公園整備事業の内容について、お伺いしたい。  
**A** 災害時の食料、生活必需品等の物資の集配、備蓄機能、避難所としての機能を兼ね備えた防災拠点としての位置づけ、公園整備を進める計画です。



防災公園予定地

## 都市整備

### 道路・交通網整備 国道28号バイパス

**Q** 竹内市長が議員時代の一般質問の中で、国道バイパス問題を質問されてから約4年がたっています。その間、道路状況は一向に進んでないように思われますが、これまでの経緯、進捗状況についてお伺いしたい。

**A** 国道バイパスについては、全体延長6キロメートルのうち3.6キロメートルは既に供用開始しています。残る区間、宇山から炬口間のうち仮称炬口トンネル部分については、昨年9月から10月上旬にかけて炬口トンネル入口付近の調査を行い、トンネル入口部分に幅くいの設置を行っています。

また、宇山地区において用地交渉を進めており、現在までに地権者58名中25名と契約を締結しています。進捗率は面積で21パーセント、金額では、38パーセントとなっております。早期着工に向けて関係機関に対し強く働きかけを行っていきます。

### 合併支援道路鳥飼浦洲本線

**Q** 合併協議の中で支援道路問題も協議された。4年経過して、進捗状況についてお伺いしたい。

**A** 県にお聞きしたところ、鳥飼浦洲本線については、合併支援道路整備事業としての整備箇所は2箇所です。1箇所目は、鳥飼浦から鳥飼上までのバイパスです。現在、工事施工中で、本年9月供用開始と聞いています。

す。2箇所目は奥畑大財上池から上内膳、縦貫道までの現道拡幅ですが、平成21年度完了済みです。

もう一点、花立トンネル周辺の倭文安住寺から奥畑間については、今後、社会経済情勢等の変化に応じて事業の手法、区間、時期等を検討していくと聞いています。倭文安住寺から上堺間については、地権者の協力が得られるということで、本年2月から5月までに地形測量を実施しています。今後、早期着工に向けて県に強く要望してまいります。

### 洲本川水系災害復旧

**Q** 平成16年の未曾有の災害の洲本川水系の災害復旧の進捗状況についてお聞きしたい。

**A** 現在、激甚災害対策特別緊急事業により、平成22年度の完成を目指して兵庫県が工事を実施しています。進捗状況は、約92パーセントの契約執行状況であると伺っています。橋梁の架け替えについては、全16橋の工事のうち7橋が完成しています。県・市とも全力で完成に向けて取り組んでいるところであります。

## 行政運営

### 総合基本計画

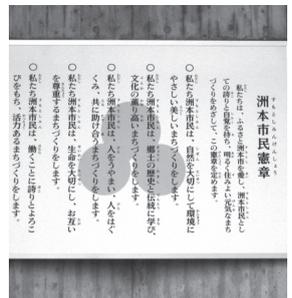
**Q** 洲本市では、20年11月に元気のもと洲本創造プラン洲本市総合基本計画が策定されましたが、竹内市長も議会代表の委員として策定に参加されていましたので、施政方針を考える中で、総合基本計画との整合性を考えましたか。

**A** 現行の総合基本計画につきましても、議員であったときに審議会委員として策定にかかわっており、そういうこともありまして、五つのまちづくりの目標は、現行の総合計画を踏まえた上でのものと御理解いただきたい。

### 市民憲章

**Q** 竹内市長の市民憲章に対する認識をお聞かせ下さい。

**A** 市民憲章は、市民が共有すべき理念や価値観を示したものであると認識しております。市長である前に市民として心すべきものであると受け止めております。大切にしていきたいと思っております。



市民憲章

### 過疎債の有効活用

**Q** 過疎債をどう活用するのか。

**A** 今年の国会で過疎法が6年間延長になり、ありがたいといえますが、大事な財源というふうな認識を持っておりまして、十分活用させていただくことは、当然のことだと理解しております。

## 環境保全

### 自然環境、森林の再生

**Q** 市のどんぐり集め、ウバメガシ育苗現状と展望についてお伺いしたい。

**A** 千草地地区で新しい土地を確保し、そこを苗床の基地として、ウバメガシの育成を考えています。また、由良地区、千草地地区で育成している苗を半年から1年かけ山に移せる状況になれば、柏原山に移植したいと考えています。

## 学校教育

### 学校給食

**Q** 地産地消の学校給食を実施していくためにどのような取り組みを進めていくのか。自校方式のほうがメリットが大きいのではないかと。

**A** 食材については、地元食材を使った給食メニューを開発するとともに、地元農林漁業関係者と連携、協議しながら、地産地消に努め、中学校の給食未実施校の解消と単独及び共同調理場の老朽化への対応を含め、学校給食施設の再編を進めてまいります。自校方式は、各学校一つ一つ調理するもので、センター方式は、一つのところで調理して運搬、配食するというものです。今ある学校の施設についても、ウエット方式からドライ方式へと衛生面から適合させるのは、非常に難しい。共同調理方式のほうが施設も完璧なものができるのではないかと。給食センターの整備は、本年度できるだけ早い時期にその場所を選定し、平成25年度中の供用開始を目標として進めてまいります。

## 社会教育(生涯教育)

### 社会教育(生涯教育)の展望

Q 洲本市の社会教育(生涯教育)の展望、具体的施策について教えていただきたい。

A 生涯学習の拠点として、図書館2館、文化史料館、中央公民館2館、地区館11館を整備し、多くの市民の方々に利用されています。

具体的事業としては、青少年リーダー養成事業、地域子育て支援事業、学校支援地域本部事業などを実施しています。

## 健康福祉

### ヒブワクチン接種費用

#### 助成事業

Q この助成事業の具体的な実施内容についてお聞きしたい。

A インフルエンザ菌のB型、ヒブによる細菌性髄膜炎感染者のほとんどが子どもであることから、2歳未満の乳幼児を対象にワクチン接種費用のおおむね2分の1の4千円を限度とした助成を行う予定です。

## 肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

### 費用助成事業

Q 県内でもまだ、数箇所の自治体でしか行われてないという中で助成が実現することは、市民にとって朗報であります。事業内容についてお伺いしたい。

A 肺炎の原因の約半分は肺炎球菌が原因とされており、特に高齢者の罹患率はその大半を占めています。助成内容は、75歳以上の方を対象に接種費用の一部として定額の4千円、おおむね2分の1助成する予定です。所得制限は設けない予定です。

## こども医療費助成事業

Q 今年度より新たに設置されたこども医療費助成事業の内容について、お伺いしたい。

A 小学4年生から中学3年生までの児童を対象に、兵庫県独自の支援策として創設されたものです。対象は入院のみで、入院医療費に係る自己負担額の3分の1を助成するものです。この事業は、所得制限を設けています。実施期間は、4月から5年間です。

## 閉会中の所管事務調査

4月27日に産業建設常任委員会を開催。農林水産部、都市整備部の出席を求め、説明を聴取後、6月の供用に向け工事中である物部ポンプ場の現地調査を行い、進捗状況及び今後の計画について報告を受けた。その後、主要地方道洲本五色線三木田バイパス工事現場、菜種搾油施設及びBDF精製施設の現地調査を実施。

## 人事

副市長

・濱 田 育 孝 氏  
・森 屋 康 弘 氏

固定資産評価員

・濱 田 育 孝 氏

由良財産区管理委員

・都 博 志 氏  
・小 松 俊 二 氏

## 選挙

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員

・濱 田 育 孝 氏

## 委員会審査状況

### 総務常任委員会

税条例の一部改正の専決処分について審査のため、14日に委員会を開催。審査の結果、賛成多数により承認。

職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正、小型動力ポンプ付積載車供給契約締結の議案2件について審査のため、26日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致により可決。

### 教育民生常任委員会

国民健康保険条例の一部改正の専決処分について審査のため、14日に委員会を開催。審査の結果、全会一致により承認。

長寿祝金条例の一部改正等、計3議案について審査のため、26日に委員会を開催。

審査の結果、長寿祝金条例の一部改正は賛成多数に

より可決。その他の議案は全会一致により可決。

また、28日には、都志小(校舎)耐震補強及び大規模改造等工事請負契約締結のほか1議案の付託を受け、同日、委員会を開催。審査の結果、全会一致により可決。

### 産業建設常任委員会

下水道条例の一部改正等、計2議案について審査のため、26日に委員会を開催。審査の結果、全会一致により可決。

### 予算審査特別委員会

平成22年度の一般、特別の各会計予算計7議案について審査のため、特別委員会を設置し、24日・25日の2日間で委員会を開催。審査の結果、一般会計補正予算は賛成多数により可決。その他の議案は全会一致により可決。

## 5月定例会の日程

14日(開会) 本会議  
・人事議案2件上程、採決  
・専決処分承認案件1件を上程、説明、質疑、付託  
・委員会審査  
・委員会審査報告、質疑、討論、採決  
・専決処分報告案件1件を上程、説明、質疑  
・議案14件上程  
20日 本会議  
・質疑、一般質問7議員  
21日 本会議  
・質疑、一般質問6議員  
24・26日 委員会審査  
・予算審査特別委員会  
・総務常任委員会  
・教育民生常任委員会  
・産業建設常任委員会  
28日 本会議  
・議案14件の委員会審査報告、討論、採決  
・後期高齢者医療広域連合議会議員選挙  
・人事議案2件上程、採決  
・議案2件上程、説明、質疑、付託、委員会審査報告、討論、採決  
・議員派遣を上程、採決  
閉会中の所管事務調査事項を決定  
(閉会)